



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 葦の会	代表者	仲宗根 哲也	法人・事業所の特徴	「はれる家では自宅のような雰囲気です。自分らしく生活することを支援できるように心がけています。レクなど一人一人の得意分野を活かしながら、また、一息つきたくなったらウッドデッキのんびりしたり、広い庭（畑）で花や野菜を植え、成長していく過程を毎日楽しみに眺め、ときには野菜を収穫し調理していただくなど、その日がとても楽しく過ごせるように、また、だれもが主体的になれるような環境作りを行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム はれる家	管理者	嶺井 宏治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	11人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	職員からの意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議や事業所評価を記入する際、第三者にも伝わりやすいように、抽象的ではなく具体的に記入する。	運営推進会議の資料でアクシデントなどの対策は具体的に記入しました。事業所評価に関しても、以前より具体的に記入できたと思います。	以前よりはいいと思う。	運営推進会議や事業所評価を記入する際、第三者にも伝わりやすいように、抽象的ではなく具体的に記入する。
B. 事業所のしつらえ・環境	個別支援に花壇の手入れを組み込み、利用者様と一緒に環境整備を行っていく。	コロナ禍で花壇の手入れはできなかったのですが、個々にパーテーションで仕切り生け花を行い、玄関を花で明るく飾りました。	職員で花壇の手入れする担当を決めてはどうか。	職員で花壇の手入れをする担当を決めて、個別支援に花壇の手入れを組み込み、利用者様と一緒に環境整備を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	Tシャツを予算に計上するよう法人へ依頼し、地域活動へ参加する際は、地域の多くの方へ知っていただけるように、はれる家Tシャツを着て活動へ参加する。	Tシャツ購入は承認いただけのですが、コロナで緊急事態宣言等が発令され、はれる家オリジナルTシャツの打ち合わせが行えず、作成を延期しています。	コロナ禍で事業所と地域の関わりを、今後どのように行っていくか？	包括支援センターや社協、民生委員等と協力し、はれる家で出来ることは何かを考え参加、協力する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様ご家族へ個人情報に配慮しながら、はれる家の地域活動、交流、支援などを報告する。	コロナ禍で地域活動や交流が行えておらず、はれる家での活動などは毎月の行事新聞で報告しています。	毎月の、はれる家新聞では報告できていないことも、ご家族へ発信したほうがいいのでは。	iPadなどを活用し、メールや動画などで、利用者様の状態や活動等をご家族、主治医、訪問看護等へ情報提供が出来るようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見や情報をミーティングの際、全職員で確認、話し合いを行い改善に取り組む。	コロナ禍で運営推進会議が行えず、他者からの意見や情報を聴く機会が少なかったです。情報はミーティングや毎日の申し送り等で確認し、共有しています。	二ヶ月に一回、職員で運営推進会議を行い、はれる家が何を行ってきたかを振り返るので、継続して行いたい。	今後も職員での運営推進会議も行き、全職員で振り返りを行い、課題に取り組む。
F. 事業所の防災・災害対策	地域での災害訓練はまだ計画がなく行えていないが、実施する際は話し合いへ参加、参画する。	2月よりオンラインにて石嶺地区で防災等の勉強会が行われており、石嶺地区で起こりうる災害等を学んでいます。今後も勉強会の予定があり、勉強会へ参加する予定です。	地域での訓練の話はあるのですか？ 何処が主催して訓練を計画するのですか？	石嶺まちづくり協議会や子育て育成部会等と協力しながら、地域での災害訓練が実施できるよう、話し合いへ参加、参画する。